

平成 23 年度 社団法人東京都放射線技師会アンケート調査結果

福利調査部

多くの施設のご協力をいただいて実施した平成 23 年度アンケート調査の結果集計が完了しましたのでご報告いたします。

調査内容：東日本大震災および福島第一原子力発電所事故に関する各施設の状況調査

調査期間：平成 23 年 11 月 24 日～12 月 15 日

調査対象施設数：419

有効回答数：200

回答率：47.7%

回答していただいた施設の内訳

病院（500 床以上）	25
病院（200～499 床）	47
病院（199 床以下）	78
診療所・クリニック	38
その他	9
不明（無回答）	3
計	200

診療放射線技師の総数と男女比

	人数	割合
男	1,728	76.4%
女	534	23.6%
計	2,262	

女性技師の割合（過去の推移）

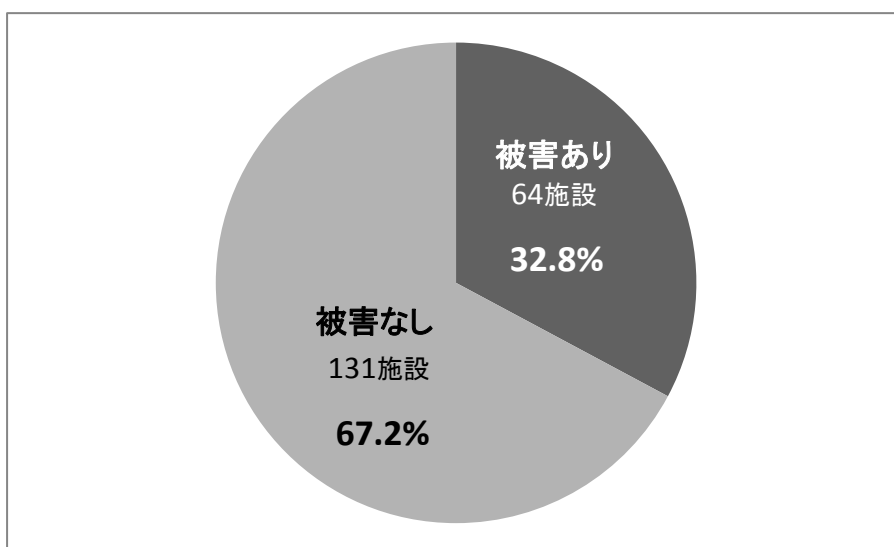
平成 7 年 17.4%

平成 19 年 21.4%

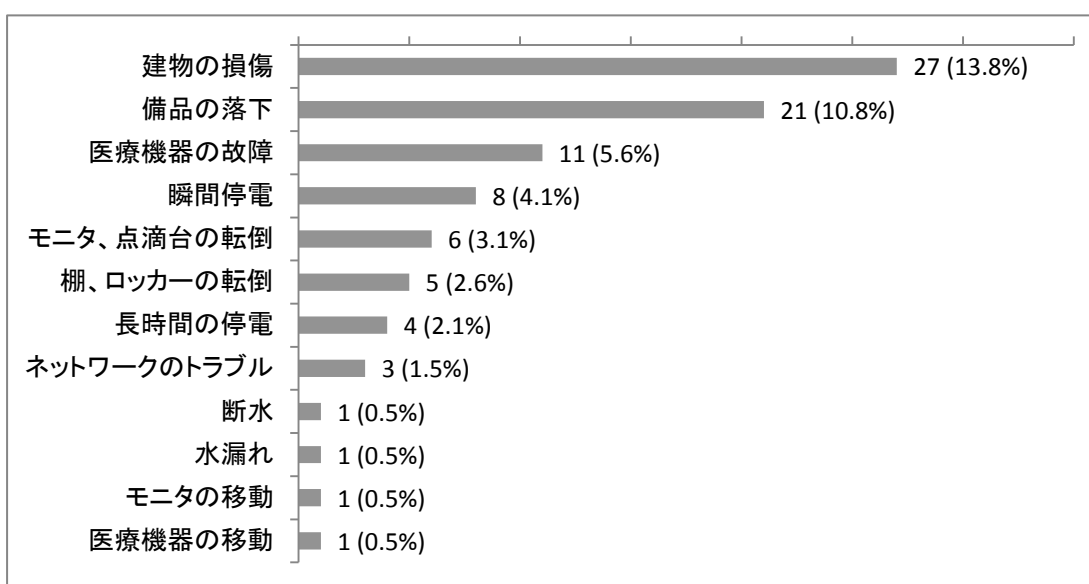
平成 23 年（今回） 23.6%

I. 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災について

Q1. 放射線部門内で地震による被害はありましたか。

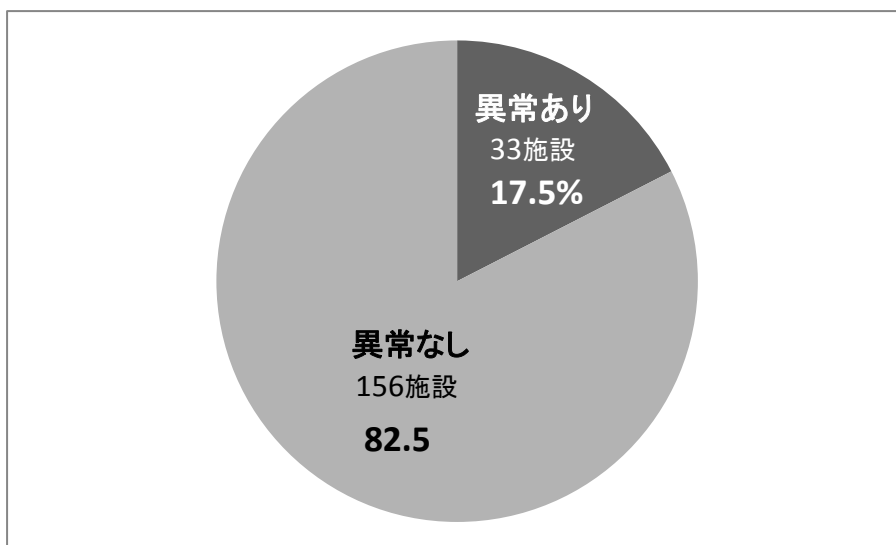


被害の内訳（複数回答あり）



※カッコ内は、被害のなかった施設も含めた全施設に対する割合

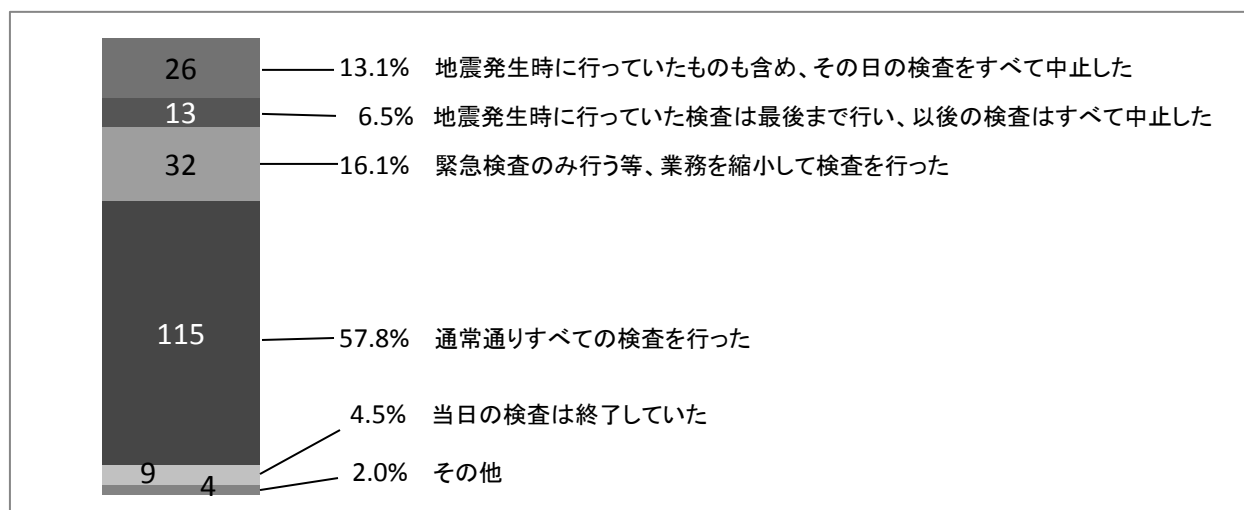
Q2. 地震発生直後に放射線機器の異常がありましたか。



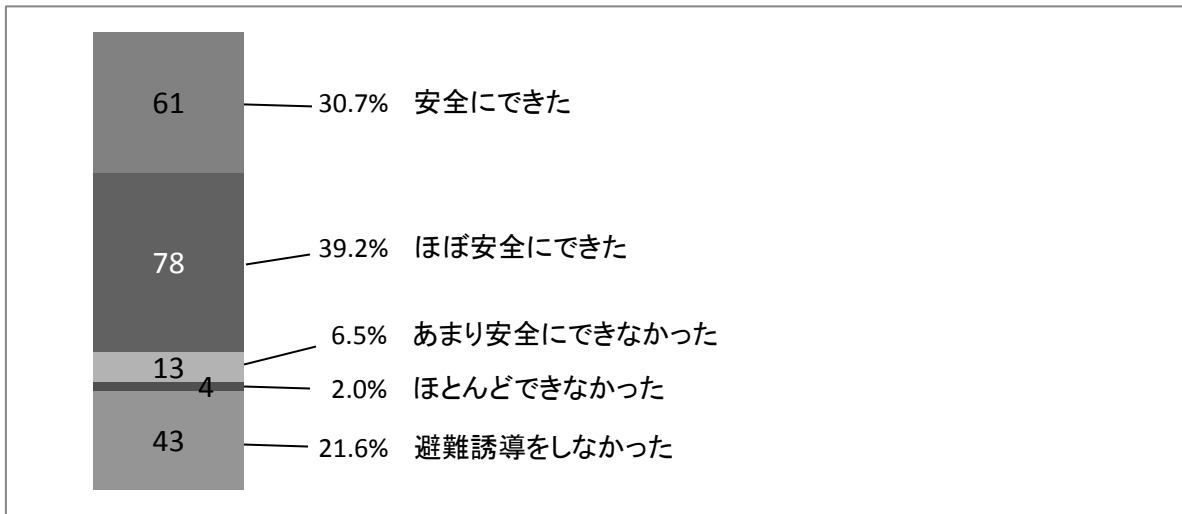
異常のあったモダリティの内訳

故障して使用できなくなった		瞬間停電や安全装置の動作により一時的に使用できなくなった	
MRI	4	CT	12
CT	1	MRI	9
SPECT	1	X線TV	3
ガンマカメラ	1	血管撮影	2
血管撮影	1	一般撮影	1
		リニアック	1
		骨塩	1

Q3. 地震発生後の放射線部門の検査への対応についてお聞かせください。

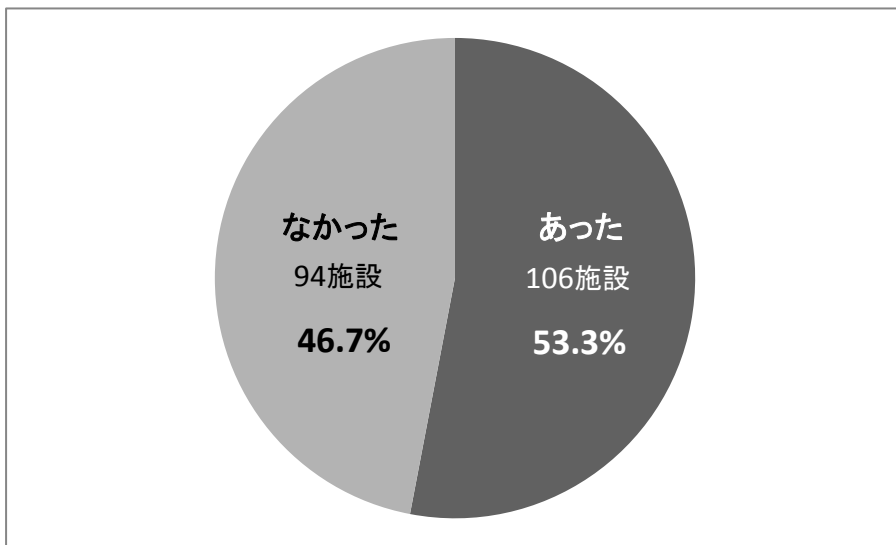


Q4. 地震発生後の患者（受診者）さんの避難誘導は安全にできましたか。

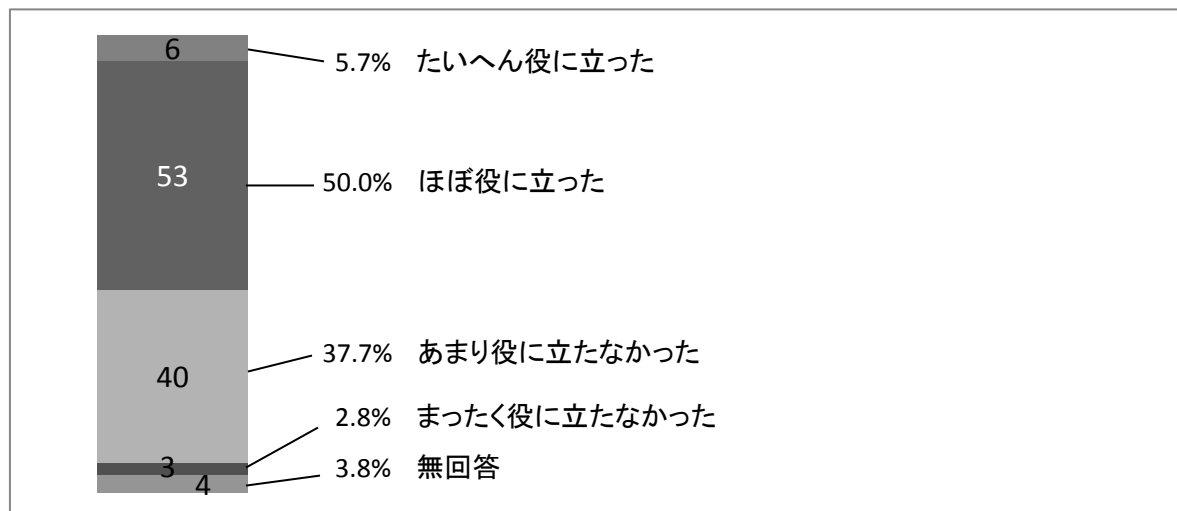


※「避難誘導をしなかった」と回答した施設には、Q3で「当日の検査は終了していた」と回答した9施設に加え、たまたま患者さんがいなかった施設も含まれます。

Q5. 震災の起こった平成23年3月11日時点で、貴施設に災害時対応マニュアルは設置してありましたか。



Q6. Q5 で「あった」と回答した施設にお尋ねします。その災害時対応マニュアルは役に立ちましたか。

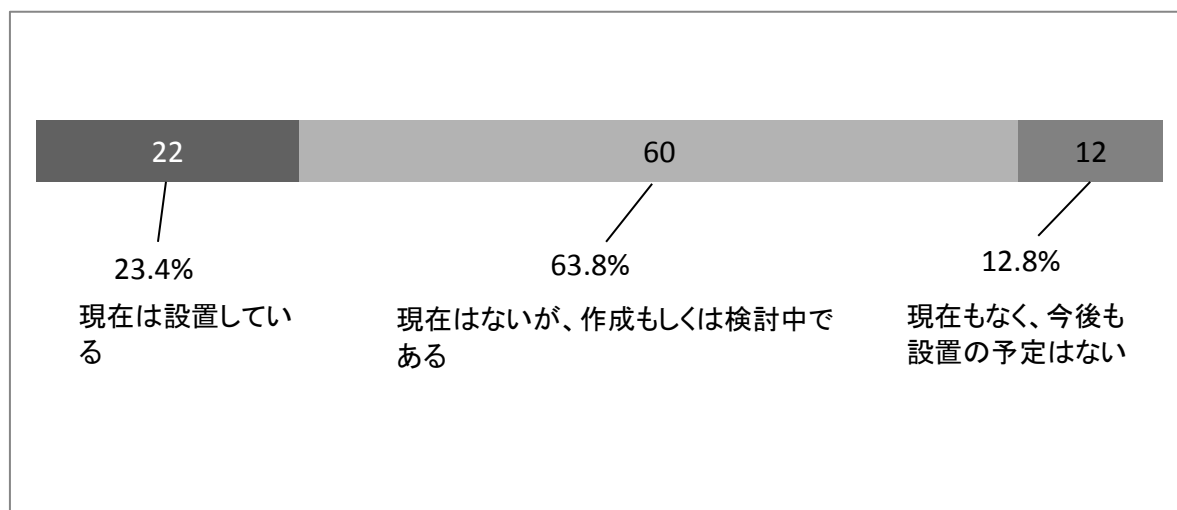


Q7. Q5 で「あった」と回答した施設にお尋ねします。今回の震災を経験してマニュアルを改善すべきとお考えでしたら、どのような点かお書きください。

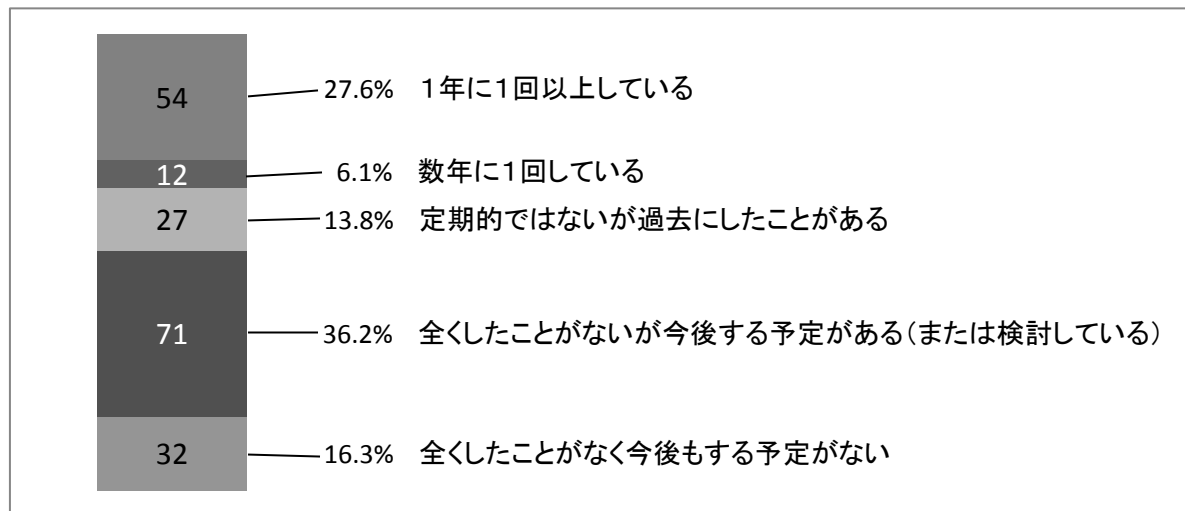
- | | |
|--------------------------------|---------------|
| ○連絡体制について（連絡網・連絡手段等） | （同様の意見 計 6 件） |
| ○検査への対応について（検査継続か中止かの判断等） | （同様の意見 計 5 件） |
| ○帰宅困難者への対応について | （同様の意見 計 5 件） |
| ○地震、火災、停電等それぞれに対応するマニュアルが必要 | （同様の意見 計 5 件） |
| ○停電時の対応について | （同様の意見 計 4 件） |
| ○患者さんの誘導、移動について（判断基準等） | （同様の意見 計 4 件） |
| ○勤務体制について（通勤方法等） | （同様の意見 計 4 件） |
| ○具体的な被害を想定したマニュアルが必要 | （同様の意見 計 3 件） |
| ○設備の点検について | （同様の意見 計 2 件） |
| ○施設全体のマニュアルとは別に放射線部門のマニュアルが必要 | （同様の意見 計 2 件） |
| ○院内放送での指示について | |
| ○ハザードマップの改訂 | |
| ○エレベーターの優先順位について | |
| ○物品の確保について | |
| ○装置がトラブルになった時の対応方法について | |
| ○すぐに行動ができるようなアクションカードの作成 | |
| ○津波や液状化など浸水への対応について | |
| ○震度に対応したマニュアルが必要 | |
| ○各部署、責任を持って行う担当者が決まっていなかった | |
| ○もう少し事細かく、スピーディーに分類できるように改善が必要 | |

- 防災センターからただちに部署に指示が出せる体制づくりが急務
- もっと詳細な内容にする
- 行うことを時系列で記述する
- 1フロアに1冊だったので、各部署1冊ずつ設置
- RIに関して追加作成
- 対応まではほぼOKだったが、措置や発令の解除がほぼ皆無だった
- 個別での初動チェックは出来ていたが、災害本部設置までいかなかったなので、すべて行動パターンを検討している
- パニックにならないように落ち着くことが一番であることを意識させる文を一番先に入れるべきか？
- マニュアルよりも、患者様の誘導、搬送時のスタッフ人員の確保がたいへんだった
- マニュアルよりスタッフの姿勢の問題がある。地震発生直後に真っ先に逃げ出したスタッフがいた
- とにかく慌てた感じが強く、もっと冷静に行動すべきと反省している
- 内容の周知徹底と訓練の必要がある(マニュアルはあっても実際に行動をとることができなかった) (同様の意見 計8件)
- マニュアル改善の必要なし (同様の意見 計6件)

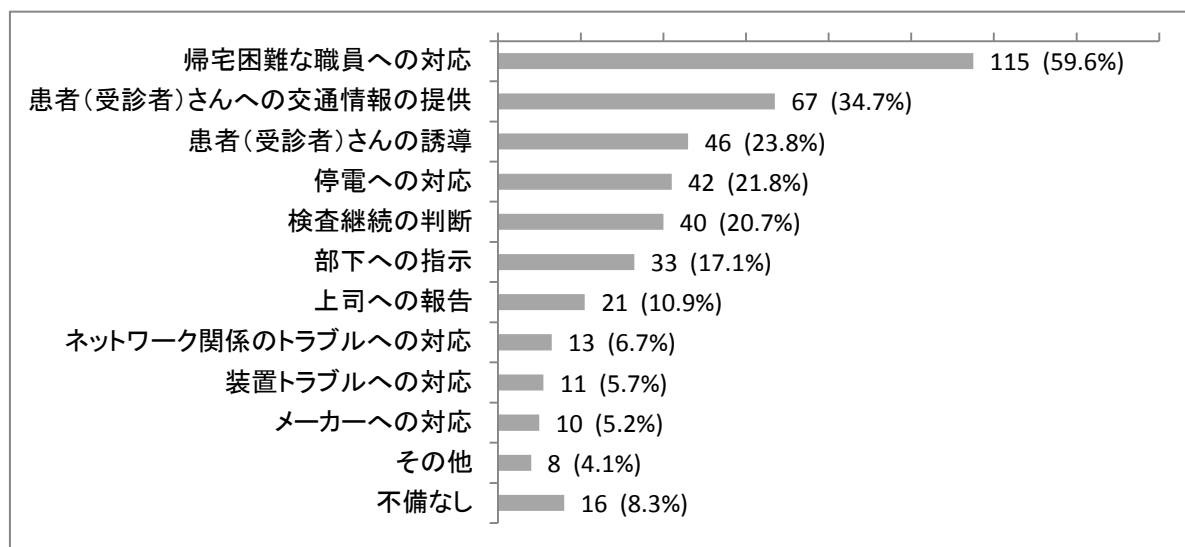
Q8. Q5 で「なかった」と回答した施設にお尋ねします。現在は、災害時対応マニュアルを設置していますか。



Q9. 火災訓練とは別に災害時に対する予行演習や放射線部門内での職員教育をしていますか。

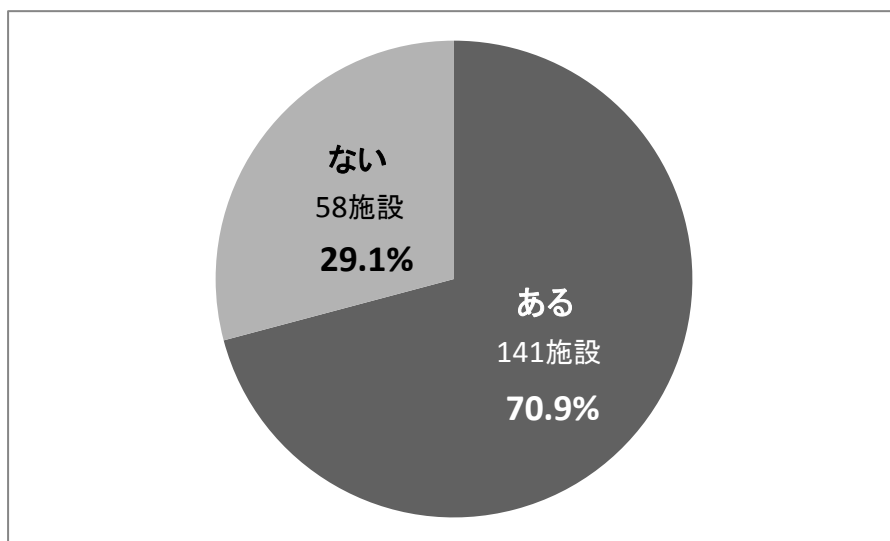


Q10. 今回の震災に対し、対応が不備だったと思われる点は何ですか。(複数回答あり)

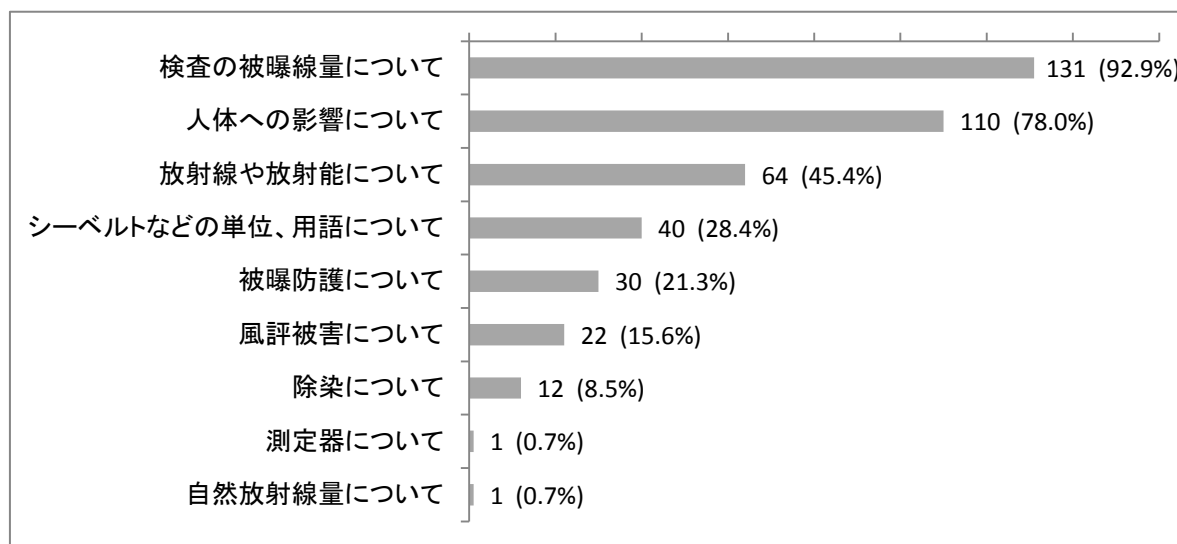


II. 福島第一原子力発電所（以下、原発）での事故について

Q11. 福島での原発事故に関して、患者（受診者）さんから何か質問されたことがありますか。

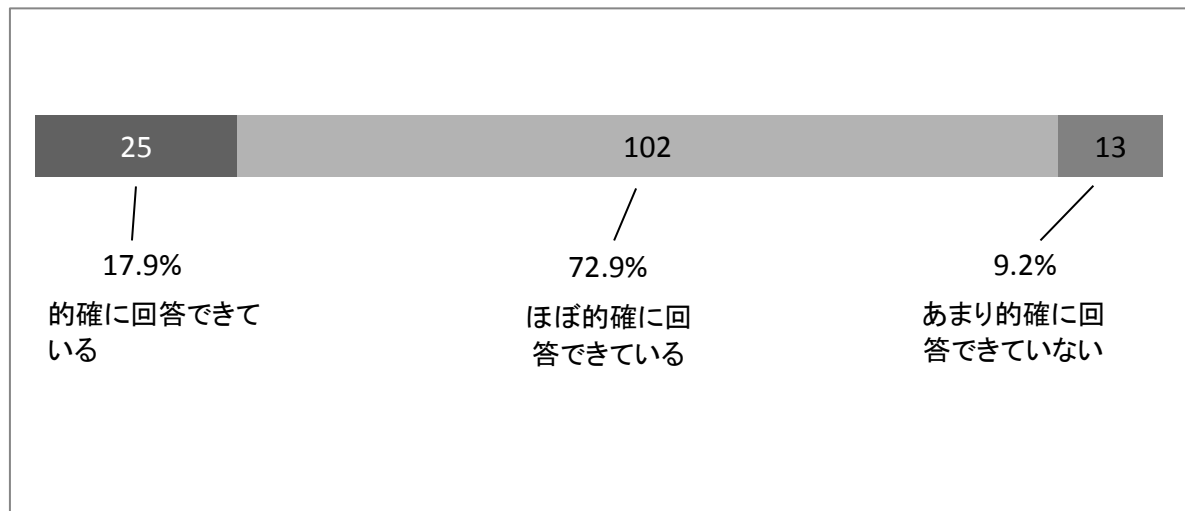


Q12. Q11で「ある」と回答した施設にお尋ねします。それはどのような内容でしたか。（複数回答あり）



※カッコ内は、「ある」と回答した施設の中での割合

Q13. Q11で「ある」と回答した施設にお尋ねします。その質問には的確に回答できていますか。



Q14. 福島での原発事故が発生してから貴施設内で環境放射線サーベイを行ったことがありましたら、今までの最高測定値をお書きください。

日付	測定値 (μ Sv/h)	測定場所	日付	測定値 (μ SV/h)	測定場所
3月14日	300.000	台東区	3月31日	0.080	八丈町
15日	3.000	足立区	4月?日	1.500	北区
15日	0.800	品川区	8日	0.015	練馬区
15日	0.300	青梅市	13日	0.110	品川区
15日	0.250	板橋区	20日	BG	港区
16日	0.500	千代田区	5月?日	0.010	品川区
16日	0.250	大田区	7月1日	0.100	中央区
17日	0.070	立川市	8日	0.060	小平市
18日	2.300	板橋区	14日	0.045	日野市
23日	4.340	世田谷区	20日	0.075	世田谷区
23日	0.280	港区	9月26日	1.000以下	大田区
23日	0.240	港区	10月18日	0.300	青梅市
23日	0.200	目黒区	31日	0.075	中野区
24日	0.280	福生市	11月2日	0.110	新宿区
25日	0.500	葛飾区	5日	0.170	港区
25日	0.080	豊島区	16日	0.130	墨田区
28日	0.400	墨田区			

Q15. ご意見、ご要望等ございましたらお書きください。

このアンケートに関連して

- 患者さんに説明できるよう、Q12 の項目を見やすい一覧表またはポスターとして作成して欲しい。
- 患者（受診者）さんへの説明手本などがあればありがたい。
- 今回の地震後の病院の被害状況と経験談を合わせたマニュアルが必要。
- 技師会でサーベイメーターの貸し出しを行って欲しい。（技師会誌に載せて欲しい）
- 一般の方からの質問は、求める答えが安心感ではなく、事故への批判や農産物のことだったりするので難しかった。NHK 報道もチェックするようにしたが、原子力燃料がどのような構成原子か知らないし、爆発して拡散した放射線物質はセシウム、ヨード、ストロンチウムだけなのか？ 政府にはきちんと調べ公表してもらいたいものだと思います。

技師会に対して

- 放射線管理士の活用、普及の推進をお願いしたい。
- 診療放射線技師の失業者が多すぎる。早急な対応（法整備）をお願いいたします。
- 技師会雑誌の中で最も読みごたえのある項目は誌上講座ですので、日本および東京都放射線技師会において中核となる部分であり、編集にあたっては十分に力を注いでいただく内容であるべきと思うのですが、この所東京放射線に掲載してある内容と同様の内容の誌上講座を JART 雑誌に掲載してあるため、同じ内容のものを二度読まされており興奮しております。これでは技師会員の減少がより懸念されます。
- 勉強会に出られれば出たいのだけれども、環境が現在許さないので申し訳ない。
- 技師会は着実に良い方向に向かっていると感じます。誠心誠意社会に貢献してください。

この度の調査にあたり、多くの施設のご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。